

科目名	簿記Ⅰ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Book keeping Ⅰ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	ひろせ たいゆう	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	広瀬 大有	修得単位	2単位
授業のテーマ	日商簿記検定試験2級・商業簿記		
到達目標	通常、合格到達所要時間は「120～150時間」。従って講義外の学習が97.5～105時間の勉強が求められる。		
授業概要	平成31年度（6月、11月、翌年2月）対策用講義である。		
授業計画			
第1回	第1章 簿記一巡の手続と財務諸表（1頁～6頁）		
第2回	第1章 簿記一巡の手続と財務諸表（1頁～6頁）		
第3回	第10章 株式会社の純資産（資本）（113頁～132頁）		
第4回	第10章 株式会社の純資産（資本）（113頁～132頁）		
第5回	第10章 株式会社の純資産（資本）（113頁～132頁）		
第6回	第4章 有価証券（27頁～39頁）		
第7回	第4章 有価証券（27頁～39頁）		
第8回	第4章 有価証券（27頁～39頁）		
第9回	第7章 固定資産（63頁～83頁）		
第10回	第7章 固定資産（63頁～83頁）		
第11回	第7章 固定資産（63頁～83頁）		
第12回	第14章 決算（162頁～205頁）		
第13回	第14章 決算（162頁～205頁）		
第14回	第14章 決算（162頁～205頁）		
第15回	第14章 決算（162頁～205頁）		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	自主的勉強会（土曜日、祝日など）への参加を勧める。早期合格を目指す学生に対する指導を行っている。		
履修条件 受講のルール	日商3級取得者が望ましい。ただし、今後の勉強次第で、不合格者でも2級合格している勉強会出身者は多数いる。		
テキスト	渡部裕亙・片山覚・北村敬子 編著『検定簿記講義 2級商業簿記』（平成30年度版）		
参考文献・資料	渡部裕亙・片山覚・北村敬子 編著『検定簿記ワークブック 2級商業簿記』（平成30年度版）		
成績評価の方法	総合評価方式 ① テスト 60% ② 課題提出 30% ③ 受講態度 10%		
オフィスアワー	① 毎週火曜日 14:40～16:10 ② 水曜日 14:40～16:10		
成績評価基準	<p>【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）</p> <p>【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。</p>		

学生への メッセージ	<p>① 2級レベルは、最も企業に求められる資格の一つ。財務担当者に必須。</p> <p>② 1級レベルは、合格すると税理士試験の受験資格取得。大学等で専門に学ぶ者に期待するレベル。 2級合格者は、本学では鈴木寿先生に指導を受けることを勧める。</p>
---------------	--